

お知らせ

大学院に保健医療学研究科 柔道整復学専攻(修士課程)を開設

2019年4月に大学院保健医療学研究科柔道整復学専攻(修士課程)を開設します。本研究科では、柔道整復学分野における研究能力と高度な専門的治療を実践するために必要な知識と能力を修得します。また、海外のスポーツ医療施設や国内の医療機関、スポーツ関連施設など、国内外で実施するインターンシップを通して、スポーツ分野で世界を舞台に活躍できるグローバル人材の育成を目指します。

保健医療学研究科開設記念講演会
(第41回明実会・第13回やわらぎ学術大会共同開催)

10.28(日) 13:30~15:30

場所 明治東洋医学院専門学校2階講堂
講師 大阪府済生会吹田病院 院長 黒川 正夫 先生
参加費 無料

※当日は、スポーツ障害(肩・膝など)リハビリに関する内容のご講演をいただく予定をしております。



[入学定員]4名 [学位]修士(柔道整復学) [修業年限]2年

Schedule

<p>9 September</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスマナー講座・卒業生講演会【看護学部3年】(21日) ● 市民公開講座(22日) ● オープンキャンパス(30日) 	<p>10 October</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 創立記念日(3日) ● たには祭(20・21日) ● 教育振興会総会(20日) ● 1・2年教育懇談会(21日) ● 市民公開講座(27日) 	<p>11 November</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本柔道整復接骨医学会 (17・18日) 	<p>12 December</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オープンキャンパス(8日) ● 全学横断的シンポジウム(17日) ● 冬期休暇 	<p>1 January</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 冬期休暇 ● 学年末試験 	<p>2 February</p> <ul style="list-style-type: none"> ● はり師きゆう師国家試験 ● 看護師・助産師・保健師国家試験 	<p>3 March</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 柔道整復師国家試験 ● 全学研究ポスターワークショップ(7日) ● 卒業式・卒業記念パーティー(15日) ● 学内研究助成成果発表会(22日) ● オープンキャンパス(28日)
--	---	--	---	---	---	--




〈災害に対するお見舞い〉

平成30年6月18日に起きた大阪北部地震ならびに平成30年7月豪雨による災害で被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。被災地の1日でも早い復興を心よりお祈り申し上げます。



看護学部[看護学科] * 保健医療学部[救急救命学科・柔道整復学科] * 鍼灸学部[鍼灸学科] * 大学院[鍼灸学研究科]
〒629-0392 京都府南丹市日吉町 TEL0771-72-1183 FAX0771-72-1189 E-mail gakusei-shien@mst.meiji-u.ac.jp



明治国際医療大学だより

Meiji University of Integrative Medicine News Letter Vol.17

大学情報誌

矢野副学長が新学長に就任

平成30年3月31日付けを以って岩井直躬学長が退任され、副学長の矢野忠教授が新たに学長として就任いたしました。去る4月15日には、ホテルグランヴィア京都にて岩井前学長のご功労を称えとともに、矢野新学長へ歓迎の意を込め歓迎迎会が盛大に執り行われました。新たに就任された矢野学長は、本学の鍼灸学部長、大学院研究科長、副学長等の重責を歴任され、更に、公益社団法人 全日本鍼灸学会

の会長に就任されるなど、まさに鍼灸界の先駆けを担うご活躍をされておられます。学長就任後の挨拶では、「今後、大学を取り巻く環境はますます厳しくなる中、18歳人口の減少を踏まえ大学の生き残りをかけた挑戦と魅力的な高等教育の提供を心がけ、大学自身が元気になれる特色を伝えられるよう尽力したい」と教職員へ一層の理解と協力を求められました。



就任ご挨拶

今年度より、学長として就任いたしました、矢野忠でございます。本学は、東西両医学の融和を掲げ、21世紀に活躍できる医療人の育成を目指すユニークな医療系大学です。日本は超高齢社会・少子社会を迎えてこれからの社会環境は急速に変化します。それに伴い医療のかたちも大きく変わります。本学はそのことを先取りし、「和」の精神を以って社会で活躍できる医療人の育成を目指しています。人と人との和、人と自然との調和、そして東洋と西洋の融和、これら三つの「和」による建学の精神を基調として確かな医療人を育成するために附属病院、附属メディカルMRセンター、附属東洋医学研究所など多くの関連施設を設置し、また学生生活を満喫できるように数々の教育施設を備えています。ここでの学びを通して、21世紀に求められる国内外で活躍できる医療人の育成に励みたく思っています。今後ともご支援、ご協力の程、どうかよろしくお願い申し上げます。

新学長 矢野 忠

女子柔道部 ～全日本学生柔道優勝大会(女子3人制)準優勝～

昨年度、女子柔道部を創部し、5月に開催されました第25回 関西学生女子柔道優勝大会(1部3人制、体重無差別)を部員3名で優勝、続く全日本学生柔道優勝大会(女子26回)では、ベスト8という結果でした。今年度は、新入生7名が入部し、女子柔道部は10名となり、5月に開催されました第26回関西学生女子柔道優勝大会を優勝、2連覇することができました。平成30年6月23日(土)、東京・日本武道館で開催された全日本学生柔道優勝大会(女子27回)に6名が出場しました。大会では、1回戦からトーナメントを順当に勝ち上がり、準決勝では、昨年準優勝校の創価大学と対戦し、1-1の同点となり、代表戦で勝利し決勝戦まで駒を進めました。決勝戦は2連覇中の早稲田大学との対戦でしたが、0-2で敗退しました。全日本学生柔道優勝大会を創部2年目で準優勝することができましたが、悔しさに目に涙を滲ませている選手を見ると、来年度は一層期待できるチームになることを確信することができました。大会優秀選手には、本学2年生の三苫桃子が選出されました。



顧問: 岡本 武昌
部長: 吉田 勲生
監督: 小川 豊清

主将: 刈谷 美咲(武段、看護学科2年、東大阪大学敬愛高)
選手: 河野 志歩(武段、鍼灸学科2年、新田高)
三苫 桃子(初段、鍼灸学科2年、敬愛高)

上田 莉圭(初段、鍼灸学科1年、香ヶ丘リベルテ高)
林 美七海(武段、鍼灸学科1年、東大阪大学敬愛高)
丸山 佳代(武段、柔道整復学科1年、天理高)

強化指定クラブの主な成績 (2018年度前期)

陸上競技

第82回京都学生陸上競技選手権 [男子 総合7位] [女子 総合7位]
[ハンマー投げ] 男子最優秀選手賞 若山 哲也(柔道整復学科2年)

第95回関西学生陸上競技対校選手権

男子2部 [円盤投げ] 優勝 ソーリー浩夢(柔道整復学科4年)
2位 天野 大輝(柔道整復学科2年)
[やり投げ] 優勝 岡田 大地(柔道整復学科4年)
2位 金川 陽亮(救急救命学科2年)
3位 小牧 豊和(柔道整復学科3年)
[ハンマー投げ] 優勝 若山 哲也(柔道整復学科2年)
2位 田村 啓斗(鍼灸学科2年)
3位 仲西 隆世(鍼灸学科3年)
[4×400mR] 3位 東(鍼灸2年)、横路(鍼灸2年)
斉藤(鍼灸2年)、勝原(柔整2年)
[4×100mR] 入賞 [走幅跳び・400m] 入賞者多数
女子 [ハンマー投げ・砲丸投げ・やり投げ] 入賞者多数
[男子総合2部] 入賞 [男子フィールド2部] 優勝 [女子フィールド] 入賞

日本学生陸上個人選手権 [ハンマー投げ] 入賞者: 2名

第71回西日本学生陸上競技対校選手権 [やり投げ] 入賞者: 2名

男子・女子バレー

〈男子〉 関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦(4部) 2位 [3部昇格]
第44回西日本バレーボール大学男子選手権大会 決勝T2回戦敗退
〈女子〉 関西大学バレーボール連盟春季リーグ戦(3部) 6位 [3部残留]
第44回西日本バレーボール大学女子選手権大会 決勝T初戦敗退

女子サッカー

関西学生女子サッカー春季リーグ(1部) 6位入賞
京都FAカップ2018(京都府大会) 優勝
第14回京都女子サッカー選手権大会(京都府大会) 優勝
第40回皇后杯全日本女子サッカー選手権(京都府大会) 優勝

柔道

〈男子〉 亀岡市柔道大会 [団体戦 優勝] [個人戦 優勝]

〈女子〉 国体一次選考会 [57kg級 2位] 刈谷 美咲(看護学科2年)
[57kg級 3位] 丸山 佳代(柔道整復学科1年)
[無差別級 優勝] 三苫 桃子(鍼灸学科2年)

第20回京都学生女子柔道大会 [3人制の部 3位]

全日本ジュニア体重別選手権京都府予選会

[52kg級 2位] 刈谷 美咲(看護学科2年)
[78kg級 2位] 三苫 桃子(鍼灸学科2年)
[78kg超級 3位] 上田 莉圭(鍼灸学科1年)

第23回関西学生女子柔道優勝大会 [3人制の部 優勝]

第27回全日本学生女子柔道優勝大会 [3人制の部 準優勝]

女子剣道

関西学生剣道選手権大会 [個人 ベスト16] 阿瀬知瑞希(看護学科2年)
[個人 ベスト32] 中園 美希(看護学科2年)

西日本学生剣道大会 [団体 ベスト32]

春季関西医歯薬学生
剣道大会 [団体 優勝]
[個人 2位] 市瀬 未季(看護学科1年)

京滋学生剣道大会 [団体 3位]
[個人 準優勝] 中園 美希(看護学科2年)
[個人 ベスト8] 横江 晴奈(看護学科3年)
[個人 ベスト16] 河原 帆夏(看護学科1年)

国民体育大会京都府予選会 [個人 ベスト8] 中小野田結(柔道整復学科1年)

京都府女子剣道大会 [団体 3位]
[個人 ベスト8] 市瀬 未季(看護学科1年)
[個人 ベスト16] 中園 美希(看護学科2年)
河原 帆夏(看護学科1年)
[優秀選手賞] 市瀬 未季(看護学科1年)

国士舘大学と包括協定を締結

本学と国士舘大学(東京都世田谷区)は、大学間連携に関する包括協定を締結しました。調印式は、平成30年7月27日(金)に国士舘大学の世田谷キャンパス1号館3階会議室で行われ、国士舘大学の佐藤圭一学長と本学の矢野忠学長がそれぞれ、協定書に署名しました。協定書署名後のあいさつで、国士舘大学の佐藤学長は「両校のもつ教育資源や人的資源を最大限に生かし、救急救命分野で日本や世界をリードする大学を目指したい」と述べ、一層の関係強化へ意欲を示しました。続いて、本学の矢野学長は「貴校の協力により救急救命学科は開設2年目を迎えることができた。両校の強い信頼関係のもと協定書にある各項目を誠実に取り組み、実りある成果を導き出したい」と意気込みを述べました。国士舘大学は、四年制大学として日本で初めて救急救命士を養成する学科を設置し、本学が昨年4月に救急救命学科を新設した際、教育体制の構築でも協力を頂いた経緯があり、現在は教職員の派遣や学生のインターンシップなどを実施しています。今回の包括協定は、災害の多発で防災や救急救命分野の高度化が求められる中、両大学の協力関係をより強化することで、教育・研究の質的向上を目指すとともに、人材交流をさらに進め、防災面で地元自治体との協力体制の構築にも繋げていきます。



京都府就職支援協定の締結式開催

平成30年7月14日(土) 京都市勤業会館「みやこめっせ」で京都府と府内大学との就職支援協定締結式が開催されました。この協定は、本学と京都府が相互に連携・協力し、学生に対し府内の企業情報等を提供するなど、就職活動を支援することにより、府内企業への就職促進を図ることを目的とするものです。締結式には、京都府知事ははじめ短期大学含め33大学の学長、就職支援関係の先生方が出席、本学からは、矢野忠学長が出席しました。式典では、本協定の概要説明、出席大学の紹介、代表校による協定書交換、知事挨拶のほか、本協定に寄せて出席学長から一言を述べる機会があり、矢野学長からは、本大学の就職についての医療系求人への進路決定、入職後の離職防止についての支援等に関することが述べられました。今回の協定締結により、地元・京都への就職希望者に対する支援体制が強化されることや、よりきめ細やかな進路指導が可能になると考えております。

国際シンポジウムを開催 — 第24回国際学術交流講演会 —

平成30年4月13日(金)13時30分から、本学講堂において国際シンポジウムを開催しました。参加対象を本学教職員及び全学生とし約500名の参加を得て実施しました。第1部は、樋口副学長が座長となり、本学客員教授 Dr.João Pereira Almeida氏から「How to develop talents どのようにして選手を育成するのか? SLベンフィカの取り組み」と、同じく客員講師 Dr.Maria João Cascais氏から「Doping of Sports 禁止リストと治療薬」の2演題について、ポルトガルにおけるそれぞれの実情を英語にて講演いただき拝聴しました。質疑応答の際には、鶴講師及び大学院生岡田さんの2名に通訳を担当いただきました。第2部は、角谷鍼灸学部長が座長となり、川喜田教授から「遅発性筋痛について分かってきたこと」と矢野学長から「触れることの効果と意義について」の2演題を拝聴しました。長時間にわたる講演会となりましたが、ポルトガルから来日頂いた両名の先生の貴重な講演が拝聴でき、併せて川喜田教授・矢野学長の2題も通常の講義では聞けない内容を受講できたこと、さらに英語での講演に戸惑いながらも理解を深めようとする学生の受講態度を見ると、大変有意義な講演会となりました。



看護総合・統合実習

西洋医学と東洋医学的な視点を
合わせ持つ看護を意識する

看護総合・統合実習は、実習の最終段階として位置づけ、医療チーム内での看護の役割やチームによる看護実施のあり方、および統合医療の要素を看護実践に応用する可能性についても実習を通じて考える機会を持つことを目的としています。今年も7月9日(月)から7月19日(木)までの9日間、実習協力施設である附属統合医療センター、附属鍼灸センター、附属病院、はぎの里をめぐり、それぞれの施設で学んだことをまとめ、最終日のグループ発表会で交流しました。とりわけ、今年は本学附属病院での看護管理やリーダーの役割を学ぶ機会が特徴的で、渡邊看護部長の講義も実現しました。また、介護老人福祉施設はぎの里では、懐かしの絵本の読み語りを通じて、統合医療的内容が人生を豊かにいづることも経験を通じて実感できました。



はぎの里での「読み語り療法」

〈2019年4月看護学部定員増!! 60名→80名〉※認可申請中

本学は、京都府の中部に位置し、農林業を主産業とする地域に設置されており、併設の附属病院は、東西両医学を融合した医療機関として地域に密着したメディカルステーションとしての役割を担い、地元をはじめ近隣地域住民の健やかな暮らしをサポートしています。京都府の看護大学の中で最も北部に位置する本学への入学希望者は、高校生の大学志向と地元志向の高まりも受け、京都府全体に対する京都府中部地域・北部地域からの志願者と入学者の割合が高く推移しています。

これらの背景を鑑み、京都府中部地域・北部地域の医療機関等に対する看護師養成を見据えて、入学定員を60人から80人に増員させることによって、特に需給見通しが低い状況にある地域における看護師の確保が期待されており、その期待に応えるべく、現在看護学部の入学定員を変更することを文部科学省に認可申請中です。(平成31年度より変更予定)

創設2年目を迎えて

新入生の入学、2年生スタート

新学年がスタートし、1年生65人が新たに救急救命士になるための道を歩み始めました。前期の授業は市民が行う心肺蘇生法や応急手当を中心に学修しました。8月下旬に予定されている南丹市トライアスロン大会に救護スタッフとして活動することを目的に、トレーニングに励んでいます。また、7月末にはプールでのライフセービング実習が実施されました。泳力に自信がなかった学生もいましたが、クラス一丸となってライフセーバーの資格取得に向けて頑張りました。

2年生は、特定行為である「気管挿管」の実習を行いました。特定行為とは、救急救命士に実施が認められている医療処置です。これからのいよいよ本格的な救急救命処置の訓練がスタートします。また、並行して実施されている介護実習では、近隣の高齢者福祉施設に伺って、レクリエーションや送迎の補助などを行います。今後ますます増加する高齢者の搬送に対応するための接遇やコミュニケーション能力を身につけます。

1年生



基礎ゼミ
規律訓練の様子

ライフセービング実習
セルフレスキュー訓練の様子

2年生



救急処置実習A-II
気管挿管訓練の様子

介護実習
高齢者体験の様子



救急救命学科の授業風景やイベントなどの情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

新カリキュラムの開始

自分の将来を考える機会に、1年次から臨床現場を体験

柔道整復学科は今年度入学生より、新カリキュラムがスタートしています。1年生前期に開講された「キャリアデザイン」では、「early exposure(早期体験実習)」として1年次から柔道整復師の職業理解を深めるため、接骨院へ見学実習に行ってきました。3つの施設へ2~3名を1班として、接骨院にはどのような方がいらっしゃるのか、柔道整復師は他のスタッフとどのように連携して治療しているかなどを実際に見学しました。

半日という短い時間でしたが、学生からは「患者として通っていた時とは違う視点で柔道整復師の先生の仕事を学ぶことができ、この職業につきたいという意志が強くなりました」といった声も聞かれました。本実習は、普段授業で学ぶことはなぜ必要なのか、何を勉強しないといけないのかを考える良い機会になると思います。この経験が、学生生活の糧になることを期待しています。



柔道整復学科の授業風景や
イベントなどの情報を掲載して
いますので、ぜひご覧ください。



基礎ゼミI

大学で学ぶための基礎を身につける

1年生前期に開講されている基礎ゼミは、入学して間もない1年生に対して、高校までの学びと大学での学びの橋渡しをする科目に位置付けられています。4年間大学で学ぶための基礎作りとして、鍼灸や鍼灸師についての理解を深め、将来社会貢献できる人材になるべくその準備をする科目です。具体的には

- ①自主的に学ぶ存在である「大学生」の学び方の基礎を身につける
- ②思考力、調査力、表現力、発信力を養う
- ③本学や地域社会を理解し、鍼灸師として社会に果たすべき役割を考える

この3つの学びを目的としています。大学での学びには、与えられたことを機械的に勉強するだけではなく、課題を自ら見つけ出しそれを解決する能力が必要になります。そのためには、資料を探す習慣、資料を正しく読む習慣、資料から正しい情報を引用できる習慣を身につけることが大切です。授業は少人数のグループワークが中心で、「理想の鍼灸師像は?社会から求められる鍼灸師とは?」から始まり、「本学の歴史、日本における鍼灸の発展、鍼灸の免許制度と関連する法律」、「社会問題を解決するために鍼灸師ができること」、「新しい領域での鍼灸、鍼灸の未来」について各自が意見をまとめ、グループ内でディスカッションを行い、各班の意見を取りまとめてプレゼンを行います。人の意見を聞き、取りまとめ、プレゼンを行うことを通して、学びを深めていきます。



鍼灸学科の授業風景やイベントなどの情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。



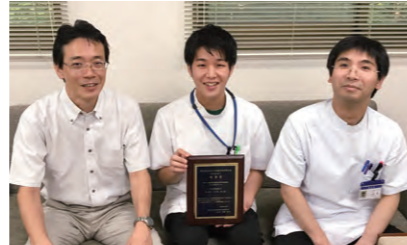
学会発表にて優秀賞を受賞

この受賞を糧にして今後も臨床・研究を続けていきたい ▲

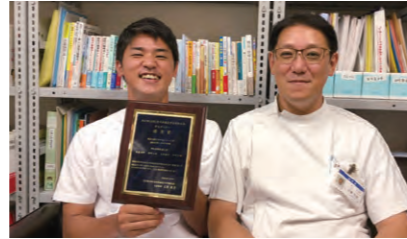
平成30年6月2日(土)ー3日(日)に、第67回(公社)全日本鍼灸学会学術大会が大阪にて開催されました。その中で、大学院1年目の比嘉翔平くんと堀優貴くんが、「学生ポスター発表」という発表区分の中で優秀賞を受賞しました。学生ポスター発表は、学部生の時に行った研究について発表し、審査員が採点した上で賞を授与するものです。今回、本学から2名の受賞があったことは大変喜ばしいことでした。お二人の今後の活躍に期待しています。おめでとうございます!

〈比嘉くん、堀くんからの受賞コメント〉

今回、優秀賞を受賞することができ、本当に嬉しいです。二人とも大学院に進学したので、この受賞を糧にして今後も臨床・研究を続けていきたいと思っています。また、指導教員の先生方をはじめとして、沢山の方のお力添えがあったからこそ受賞できたと思っています。今回の受賞に奢ることなく、謙虚な姿勢を忘れずに、頑張っていきたいと思っています。



堀くん(写真中心)指導教員と一緒に



比嘉くん(写真左)指導教員と一緒に

Topics Meiji University of Integrative Medicine

求人受付NAVIの導入

本学ではこれまで紙媒体での求人票の取り扱いをしてきましたが、学生の利便性やより多くの求人獲得のために今年度から、web上で求人を探すことのできる「求人受付NAVI」を導入いたしました。このことで、学生はどこにいても本学に寄せられた求人情報をリアルタイムで見ることができるようになりました。それだけではなく、ワード検索機能などを使って見たい求人・知りたい情報をしばって調べることもできるようになりました。「求人受付NAVI」を利用して学生が自分にあった職場と出会えることを期待するとともにこれまでと同様、窓口でのサポートにも尽力していきたいと思っています。

4大学合同就職説明会

平成30年6月24日(日)、鍼灸・柔道整復学科を対象とした合同就職説明会を昨年と同様、関西を所在とする鍼灸系4大学(関西医療大学・宝塚医療大学・森ノ宮医療大学・明治国際医療大学)が連携し合同で開催いたしました。今年度は午後開催で行い、90近くの事業所の中から事前に希望を出していた3事業所のブースを20分インターバルで回り、それ以降は自由にブースを回りました。各ブースで真剣に話を聞く

学生たちの眼差しは、将来を見据えキラキラと輝いていました。また、他大学の学生の質問や意見に、新たな考え方や視点を持たせた等の声も多く聞こえ、学生たちにとってとてもいい刺激となった合同説明会でした。



教育振興会からのお知らせ

教育振興会では、様々な学生支援活動を実施しております。中でも、学生食堂では、元気に一日のスタートが切れるよう、「100円朝食」の補助を行い大変好評です。

今年度は、構内環境整備の一環として「クラス懇談会」や「たには祭」などに使用できるBBQ(バーベキュー)窯5基を体育館横に設置、又、各種イベントに利用できる簡易テント5張り、アイシングや夏場の猛暑を乗り切るための大型製氷機を購入。多くの学生に利用して頂くことを願っております。

今後は「学生アンケート」を実施し、多くの意見を反映することにより、学生達が快適で有意義なキャンパスライフを過ごせるよう取り組みを進めて参りたいと考えております。



また総会につきましては、多くの方々に、ご出席いただけるよう『たには祭』(学園祭)初日の10月20日(土)10時から開催いたします。奮ってご参加いただけますよう宜しくお願い申し上げます。尚、総会にご出席いただいた方々には、金券をお渡しますので各模擬店にてご利用いただきお楽しみ下さい。

第41回「たには祭」開催決定

来る10月20日(土)21日(日)に、41回目を迎える恒例行事「たには祭」が開催されます!今年の実行委員会は新入生が多く、これまでのたには祭に新たな風を吹き込んでくれる予感がします。また実行委員長の菅生滯音くん(看護2年)を中心に2年生メンバーが1年生を引っ張り、OB・OGが見守る中、これまで以上の「たには祭」を作り上げることができるよう準備を進めています。皆さんが笑顔になれるイベントをたくさん企画しておりますので、ぜひお越しください!!



教育懇談会のお知らせ

8月26日(日)、本学学内にて3、4年生の保護者様を対象に、教育懇談会を行いました。当日は、学生本人や保護者様が抱える疑問、普段の学校生活やこれから控える国家試験、就職活動などの悩み・質問を中心に、各学部の担当教員・大学事務員が直接話を聞き、ご対応させていただきました。また、学園祭「たには祭」の2日目(10月21日)には、1、2年生の保護者様を対象とした教育懇談会を実施いたします。様々なご質問にご対応させていただきますので、ぜひこの機会に、お子様の学びの場へ足を運んでいただければと思います。

